

よさこいまつりを通した現代的まつり空間の特徴と課題に関する研究

—運営・参加者の両視点を通して—

A STUDY ON CHARACTERISTIC AND PROBLEM OF THE MODERN FESTIVAL SPACE THROUGH YOSAKOI — THROUGH VIEWPOINTS OF MANAGEMENT AND THE PARTICIPANT —

都市計画分野 寺口 毅

Urban Planning Takeshi Teraguchi

日本各地には伝統ある様々な祭礼行事がある中、地域団体や行政、学生達が中心に運営するよさこいまつりが都市に勢いを見せている。本研究は現代に広がりを見せるよさこいを対象に運営側、参加者側の両視点から捉え都市空間活用の特徴と課題を明らかにした。結果、都市規模が大きく広範囲に渡るものは多様な空間活用が見られ、狭く都市規模が小さなものは日常空間の演出が目立った。同時に特徴に応じたまつりの魅力向上と運営負担とのバランスや地域固有の魅力付加が求められると判った。While there're traditional various festivals in Japan, YOSAKOI that a regional society and administration, students run shows force in the city. The purpose of this study is to clarify YOSAKOI its characteristic and problem of the city space utilization through viewpoints of management and the participant. As a result, large scale cities utilize a variety of space and small scale cities frequently utilize daily life space. At the same time, it clarified that YOSAKOI needs balance with the attractive improvement and management burden of the festival depending on a characteristic and attractive addition peculiar to its area.

0. 研究の概要

0-1. 研究背景

日本全国には古くから地域に伝わる伝統的な祭礼行事が数多く存在する。それらは日常とは違う空間演出を人々にもたらし、生活文化を形作る基盤となってきた。各地の祭礼行事では運営管理する過程において、まちづくり・地域づくりを視野に含みながらその街の伝統ある生活文化の継承を図っている。

様々な祭礼がある中、1954年に戦後の高知市の商店街活性化イベントとして開催された「よさこいまつり」は全国各地に69件もの数を数えるりも今なお広がりをみせ伝統的祭礼として永く続くものとは違う形で運営されている。伝統的祭礼は慣習を基盤として都市空間で運営されているが現代のまつりは、多様な都市空間の利用と同時に運営管理上の課題もまだまだ存在する。現代的まつりであるよさこいまつりを通して、都市空間を活用する上での特徴や課題を知り現代的まつりを新しく展開していく際の都市空間との関わり方を明らかにする必要がある。

0-2. 研究目的

本研究では日本各地で行われているよさこいまつり

を対象に開催形態や利用されている都市空間を把握し運営管理を行う上での特徴や課題に焦点を当て運営・参加者の両視点を通して都市空間との関わり方について明らかにすることを目的とする。

0-3. 研究方法と流れ

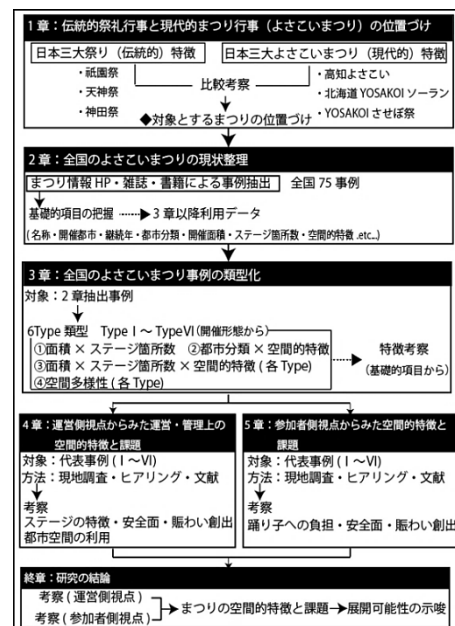


図1 本研究フロー

0-4. 用語の定義

本研究で扱う用語として次のように定義する。

【よさこいまつり】…鳴子と呼ばれる木製の楽器を持ち、よさこい節を音楽の一部に取り入れた地域独自の創作ダンスを披露するまつり。

【現代的まつり】…地域に古くから伝わる祭礼と異なり、現代に発祥し地域のまつりとして根付き始めた段階にあるまつりを指すこととする。

0-5. 研究の位置づけ

本研究に関連する既往研究として、①祭を対象にした空間利用に関する研究、②祭の運営主体に関する研究、③イベントの便益や認知に関する研究、④よさこいの教育学的、民俗学的視点に関する研究が存在する。坂東ら²⁾や藍谷ら³⁾は①や②の視点で伝統ある祭の都市的な特徴を述べた。本研究はよさこいまつりを対象に①や②の視点を軸に捉えていくことに特徴がある。

1. 伝統的祭礼行事と現代的まつり行事の特徴

1-1. 伝統的祭礼行事の開催概要からみた特徴

伝統的祭礼行事として日本三大祭りと呼ばれる祇園祭・天神祭・神田祭を対象に祭の概要、開催範囲、祭を支える組織など文献調査を基に考察を試みた。共通点として神への奉納や地鎮、災厄の除去を起源に地縁組織が中心となり水辺空間を利用しながら永く続いてきたことがわかった。

1-2. 現代的まつり行事の開催概要からみた特徴

一方で現代に新たに伝播し始めたよさこいの中で日本三大よさこいまつりと称される高知よさこい・北海道 YOSAKOI ソーラン・YOSAKOI させぼ祭りに関しても同様に文献調査を行った。共通点として発祥して間もないまつりで地元商店街の活性化や地域に新たな魅力を創造する傾向が見られた。また道路や公園、広場など滞留空間の利用が特徴的と捉えられた。



図2 ソーランの様子⁴⁾



図3 高知よさこいの様子¹⁾

1-3. 伝統的・現代的まつり行事の特徴比較

両方の行事を文献調査していくにあたり次の表1のような結果を得た。結果より現代的まつりでは地域の魅力や交流機会創出が中心にされていることが判った。

表1 伝統的・現代的まつり行事特徴比較

祭礼	伝統的祭礼	現代的まつり
開催起源	約1000年前に発祥	約60年程前に発祥
開催理由	神への奉納・地鎮 病気や飢饉など災厄の除去	地元の賑わいや商店街活性化 老若男女の交流機会創出
開催箇所	水辺空間・社寺仏閣	道路・公園・広場・駅前
運営組織	自治会・地縁組織・講社 ボランティア組織	商店街組合・学生実行委員会 (学生の繋がり)
祭の特徴	神輿・船・山車	鳴子・地方車

2. 全国のよさこいまつりの現状整理

2-1. 全国のよさこいまつり事例の抽出

2章では全国祭り情報サイト⁵⁾並びによさこいに関する書籍⁶⁾や雑誌⁷⁾を基に基礎的情報の把握が出来たよさこいまつりを対象に75事例抽出を行った。(表2)

2-2. 現状整理に伴う基礎的項目の設定

本研究を行うにあたり全国のよさこいまつりの現状整理に伴う基礎的項目を次の図4の通り設けた。

「名称」「開催日(2015)」「開催日(2014)」「ステージ空間の特徴」(10項目)	
「開催都市」「都市分類」(①政令市	(道路・公園・広場・駅前広場
②中核市③特別区④地方都市)「開始年」	公共施設：公民館や市民ホール・商店街
「継続年数」「開催趣旨」「運営主体」	商業施設・社寺仏閣・水辺：川辺など親水空間
「参加チーム数」「ステージ箇所数」	その他：上記に該当しないもの
	「面積」「密度」「Type」

図4 現状整理に伴う基礎的項目

さらに各よさこいまつりの「面積」の捉え方は、まつりの公式HPの開催地図を基にGoogle Map上にステージをプロットしMap上の東西と南北の両端を四角形で囲んだ範囲をそのまつりの開催面積と捉え表現する。(図5における事例紹介レイアウトの地図参照)

2-3. 全国のよさこいまつり事例の概要紹介

本研究で抽出対象となる事例について北海道から九州に渡る概要の紹介を図5のレイアウトに沿って行った。

名称：龍馬よさこい

開催日(2015)：11月7～8日	開催都市：京都府京都市	開始年：2008年
開催日(2014)：11月8～9日	都市分類：政令市 ①	継続年数：7年

開催趣旨

若者のエネルギーで祭りを創り上げ、龍馬へ若者の思いが届くようにといった思いのもと祭が開催されている。

運営主体：霊山社中・龍馬よさこい15実行委員会 参加チーム数：45
ステージ箇所数：6

地図



道路	公園	広場	駅前広場	公共施設	商店街	商業施設	社寺仏閣	水辺	その他
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

面積：10.4 km² 密度：2.1 km² 類型化 Type：TypeIV 複合型 Type-A 分散型

写真紹介



参考 URL「おどるぜよ！龍馬よさこいHP」
http://ryomayosakoi.com/?page_id=416

(筆者撮影)

図5 全国よさこいまつり事例紹介レイアウト

3. 全国のよさこいまつり事例の類型化

3-1. 全国のよさこいまつりの開催形態から見た類型化

2章において纏めた表2の全国のよさこいまつりの基礎的情報を基に類型化し特徴付けを行う。高知を發

表2 全国よさこいまつり事例一覧

名称	開催日(2015)	開催都市	都市分類	開始年	運営主体	ステージ 箇所数	ステージ空間の特徴										面積 (㎡)	Type	
							道路	公園	広場	駅前広場	公共施設	商店街	商業施設	社寺仏閣	水辺	その他			
YOSAKOI ソーラン祭り	6月10-14日	札幌市	①	1992年	YOSAKOI ソーラン祭り組織委員会	20												146.2	IV
かみどり祭り	12月6日	旭川市	②	2003年	YOSAKOI ソーラン祭り組織委員会(併設支部)	1												0.01	VI
えべつお祭りまつり	7月25-26日	江別市	④	1996年	えべつお祭りまつり実行委員会	2												0.39	V
よさこいまつり	6月29日	札幌市	①	2000年	よさこいまつり実行委員会	6												0.46	III
とわだ YOSAKOI 祭り	9月27日	十勝市	④	2001年	よさこいまつり実行委員会	6												0.13	V
Yosakoi さんさ	5月31日	盛岡市	④	1998年	Yosakoi さんさ実行委員会	8												1.08	I
みちのく YOSAKOI まつり	10月10-11日	仙台市	①	1997年	みちのく YOSAKOI まつり実行委員会	8												23.6	IV
ハク公よさこい祭り	8月16日	大館市	④	2010年	ハク公よさこい祭り実行委員会	1												0.64	III
うつくし祭 YOSAKOI 祭り	9月12-13日	釧路市	②	2001年	NPO 法人 うつくし祭 YOSAKOI 振興会	4												0.11	V
かみす舞っちゃん祭り	9月19-20日	神奈川	④	2010年	かみす舞っちゃん祭り実行委員会	2												0.11	V
常陸国 YOSAKOI 祭り	5月16-17日	大子町	④	2004年	常陸国 YOSAKOI 祭り本部委員会	7												0.051	V
YOSAKOI かみさフェスティバル	3月22日	鹿沼市	④	2003年	YOSAKOI かみさフェスティバル 2015 実行委員会	3												0.096	V
たかさぎ舞舞フェスティバル	10月11日	高崎市	②	2004年	たかさぎ舞舞フェスティバル実行委員会	3												0.39	V
つるせよさこい祭り	10月18日	富士市	④	2006年	つるせよさこい祭り実行委員会	3												0.27	III
坂戸よさこい祭り	10月9-11日	坂戸市	④	2001年	坂戸よさこい祭り実行委員会	8												1.26	IV
藤倉よさこい祭り	11月3日	草野市	④	2008年	藤倉よさこい祭り実行委員会	7												0.40	V
関八州よさこいフェスタ	7月31-8月2日	朝霞市	④	1994年	朝霞市市民まつり実行委員会	9												5.04	IV
風瀬よさこい祭り	11月29日	鎌田市	④	2004年	風瀬よさこい祭り実行委員会	7												0.61	IV
ちば YOSAKOI	10月24-25日	市原市	④	2004年	ちば YOSAKOI 実行委員会	4												0.24	V
かざき YOSAKOI 水陸津波	5月3日	水尾津市	④	2002年	水尾津津波実行委員会	3												7.98	IV
スーパーよさこい祭り	8月29-30日	渋谷区	③	2001年	原宿表参道元氣祭実行委員会	5												0.84	IV
ザ・よさこい大戸ソール祭り	9月6日	江東区	③	2008年	大江戸ソール祭り実行委員会	3												0.19	II
中延よさこい祭り	9月19日	品川区	③	2011年	中延商店街振興組合	2												0.05	III
中目黒まつり	8月2日	目黒区	③	1965年	中目黒夏祭り実行委員会	3												0.1	V
駒布よさこい祭り	8月29-30日	駒布市	④	2002年	駒布よさこい 2015 実行委員会	6												0.66	IV
東京よさこい祭り	10月10-11日	豊島区	③	2000年	東京よさこい事務局	8												5.75	IV
けやきフェスタ(よさこいお祭り)	8月29-30日	府中市	④	2006年	よさこい in 府中実行委員会	10												16.7	IV
ひのよさこい祭り	7月26日	日野市	④	2001年	ひのよさこい祭り実行委員会	2												0.12	V
町田舞舞フェスタ	11月7-8日	町田市	④	1998年	キラリ女まつり実行委員会	4												0.0	V
雲川カーニバル	9月23日	江東区	③	2005年	雲川カーニバル実行委員会	3												0.15	V
よさこい祭り in 光が丘	7月18-20日	豊島区	④	2007年	よさこい祭り in 光が丘実行委員会	3												0.50	V
湘南よさこい祭り	6月7日	平塚市	④	2004年	湘南よさこい祭り実行委員会	2												0.12	V
相模原よさこい祭り	9月20日	相模原市	①	2003年	相模原よさこい RANBU 実行委員会	3												0.024	III
大井よさこいひょうたん祭	8月1日	大井町	④	1983年	大井よさこいひょうたん祭実行委員会	2												0.06	V
どん GALA 祭り	7月18-19日	柏崎市	④	2001年	どん GALA 祭り実行委員会	4												0.44	III
能登よさこい祭り	6月12-14日	七尾市	④	1997年	祭りの能登の賑わい実行委員会	2												0.17	V
舞臺祭おぼろ YOSAKOI 祭	9月13日	小浜市	④	2003年	舞臺祭おぼろ YOSAKOI 祭 2015 実行委員会	2												0.12	II
北杜よさこい祭り	10月25日	南杜市	④	2014年	中野の国小舞舞社よさこい実行委員会	2												0.032	II
浜松がね祭り	3月14-15日	浜松市	①	2000年	浜松がね祭り実行委員会	4												0.38	V
あつぱれ舞士	4月26日	富士市	④	2003年	あつぱれ舞士実行委員会	4												0.14	V
よさこい in おいでん祭り	5月29-30日	豊川市	④	2000年	豊川市まつり組織委員会(併設)実行委員会	4												0.12	V
たつぽんど真ん中祭り	8月28-30日	名古屋	①	1999年	3社連合(たつぽんど真ん中祭り実行委員会)	21												698.6	IV
よさこいまつり	5月3-5日	名古屋市	①	2006年	よさこいまつり実行委員会	4												8.61	IV
華南よさこいやちてみりん祭	11月8日	名古屋市	④	2007年	やちてみりん祭実行委員会	1												1.2	VI
四日市よさこい祭り	11月29日	四日市市	④	2005年	四日市よさこい祭り組織委員会	9												0.36	V
安濃津よさこい祭り	10月10-11日	津市	④	1998年	安濃津よさこい組織委員会	8												1.61	IV
ござれ GO-SHUI	10月4日	京都市	④	1999年	ござれ GO-SHUI 組織委員会	6												2.21	I
京都さくらよさこい祭り	4月4-5日	京都市	①	2005年	京都さくらよさこい実行委員会	7												15.2	IV
龍馬よさこい祭り	11月7-8日	京都市	①	2008年	龍馬よさこい 15 実行委員会	6												10.4	IV
堺よさこい祭り	6月28日	堺市	①	2010年	堺よさこい祭り実行委員会	3												0.045	II
ごい祭り	9月12-13日	大阪市	①	2000年	ごい祭り 2015 実行委員会	8												18.1	IV
舞舞 YOSAKOI 祭り	10月17-18日	新城市	④	2004年	えいじゅなつか祭り実行委員会	7												21.6	IV
よさこい in びじゅい祭り	11月23日	藤井寺市	④	2010年	藤井寺市観光協会	1												16.61	VI
大塚メチャパピー祭り	10月12日	大塚市	①	2000年	大塚メチャパピー祭実行委員会・NPO 法人 GHP	7												16.47	IV
ひめじ屋敷まつり	9月12-13日	姫路市	②	2000年	ひめじ屋敷まつり実行委員会	5												0.47	V
神戸よさこいまつり	9月4-6日	神戸市	①	2000年	神戸よさこいまつり実行委員会	6												0.79	I
踊つまつり	5月2-4日	加古川市	④	1999年	特定非営利活動法人踊つまつり実行委員会	8												51.8	I
小野まつり おの恋おどり	8月22-23日	小野市	④	1978年	おの恋おどり事務局	2												0.16	II
赤穂でえしよん祭り	11月1日	赤穂市	④	2004年	でえしよん連絡協議会	4												0.60	I
バザール祭り	8月29-30日	奈良市	②	1999年	NPO 法人バザール	6												2.01	IV
紀州お祭り	7月26日 8月1-2日	和歌山市	②	2004年	NPO 紀州お祭りプロジェクト	11												6.7	IV
米子がいな	8月9-9日	米子市	④	2004年	米子がいな祭企画実行委員会	8												1.68	IV
門よさこい祭り	9月6日	さぬき市	④	2003年	雲川イベント実行委員会	1												0.03	VI
まるがめ祭	8月22-23日	丸亀市	④	2000年	まるがめ祭実行委員会	7												0.50	IV
観音よさこい祭り	7月19日	観音寺市	④	2006年	かんおんしげまつり実行委員会	7												0.93	IV
えひめ YOSAKOI 祭り	8月23日	大洲市	④	2004年	えひめ YOSAKOI 祭り振興会	7												0.94	IV
よさこい祭り	8月9-12日	高知市	②	1954年	よさこい振興会	16												4.97	IV
ふくこいアジア祭り	10月9-12日	福岡市	①	2000年	ふくこいアジア祭り組織委員会	5												0.95	I
YOSAKOI かずや祭り	10月10-11日	船橋市	④	2001年	YOSAKOI かずや祭り実行委員会	3												0.75	I
うきは YOSAKOI 祭り	9月23日	うきは市	④	2008年	うきは YOSAKOI 祭り実行委員会	4												0.84	IV
島崎よさこい祭り	5月16-17日	北九州市	①	2009年	島崎よさこい祭り実行委員会	4												0.41	II
YOSAKOI させぼ祭り	10月16-18日	佐賀市	④	1998年	YOSAKOI させぼ祭り実行委員会	13												1.6	IV
火の国 YOSAKOI まつり	3月28-29日	熊本市	①	2007年	火の国 YOSAKOI まつり組織委員会	7												3.63	IV
豊の国 YOSAKOI まつり	11月3日	大分市	②	2009年	豊の国 YOSAKOI まつり実行委員会	3												0.29	II
市比野温泉よさこい祭り	11月28-29日	薩摩川内市	④	2004年	市比野温泉よさこい祭り実行委員会	2												0.21	V

様に全国に伝播し都市空間をどう活用し、まつりを介して地域に賑わいをもたらしているのかを追いかける。類型化を行うにあたり開催面積やステージ箇所数から開催形態を捉え次の図6のような分類が行えた。

抽出事例の開催形態をみた結果、6Type に大別出来た。「面積」の値 0.5 km² を境界に設け、都市の広範囲にまつりの開催会場が点在する分散型、或いは一定範囲に会場が集中した一極集中型。道路等を利用したパレード形式の会場が主となるストリート型。そしてステージやパレードといった会場が入り混じるものは複合型と称しその中において広域に展開が見られるものを Type-A 分散型、集中したものを Type-B 一極集中型と分類した。最後に会場を一箇所しかもたないものを単拠点型とし類型化を行った。6Type をもとに「面積」「ステージ箇所数」「都市分類」「空間的特徴」の項目を使用し分析、更なる考察を行っていく。

3-2. 「空間的特徴」×「都市分類」の特徴

3-2 ではまつりの会場として利用されている様々な都市空間が開催都市の規模の違いによる傾向が見られ

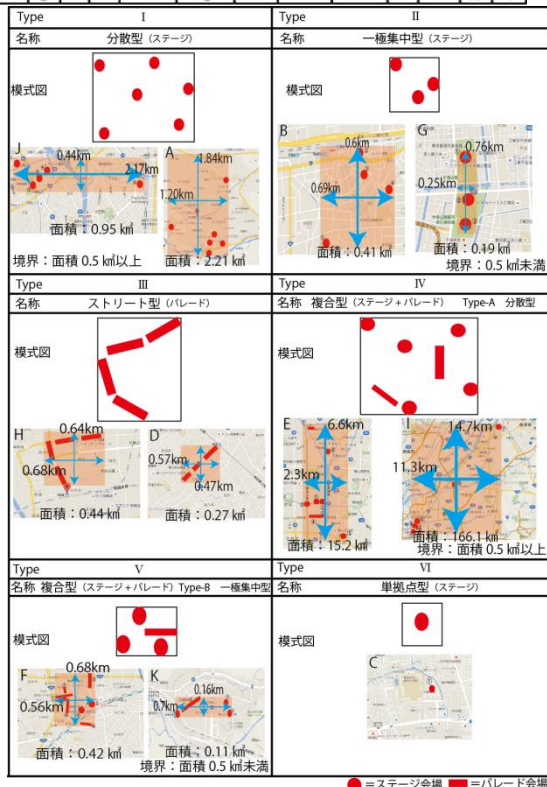


図6 全国よさこいまつりの類型化

るかどうかを事例から把握し考察を行うこととした。「都市分類」については①=政令市②=中核市③=特別区④=地方都市（①～③以外の都市）と呼称することとした。空間的特徴については「道路」「公園」など2-2で前述した10項目を利用する。各都市分類における結果は次の図7の通りとなった。

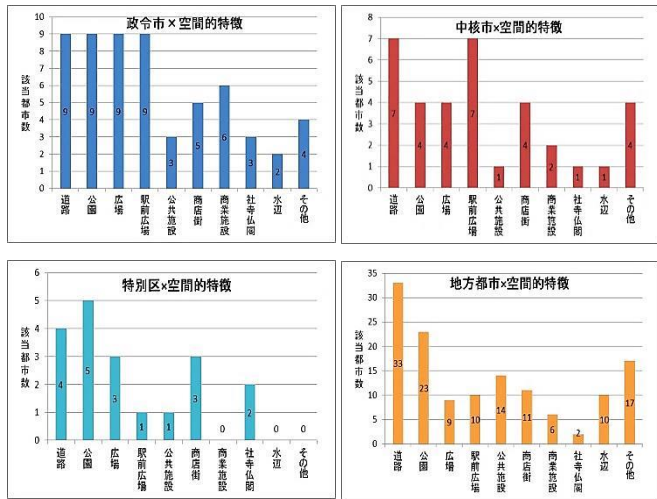


図7 各都市分類における空間的特徴

結果として都市の規模は違えど道路や公園に広場といった空間は共通して利用が多く見られた。政令市等の規模では駅前広場や商業施設等遠方からの来客が見込める都市空間の利用が増加していたが、地方都市等になると商店街に公民館、駐車場など日常に近い空間が主に利用される傾向を見て取れることが出来た。

3-3. Type別の「空間的特徴」×「面積」×「ステージ箇所数」の特徴

各Type別に3-2と同様に傾向が見られないか空間的特徴について考察を行った。次の図8のような結果を得ることが出来た。

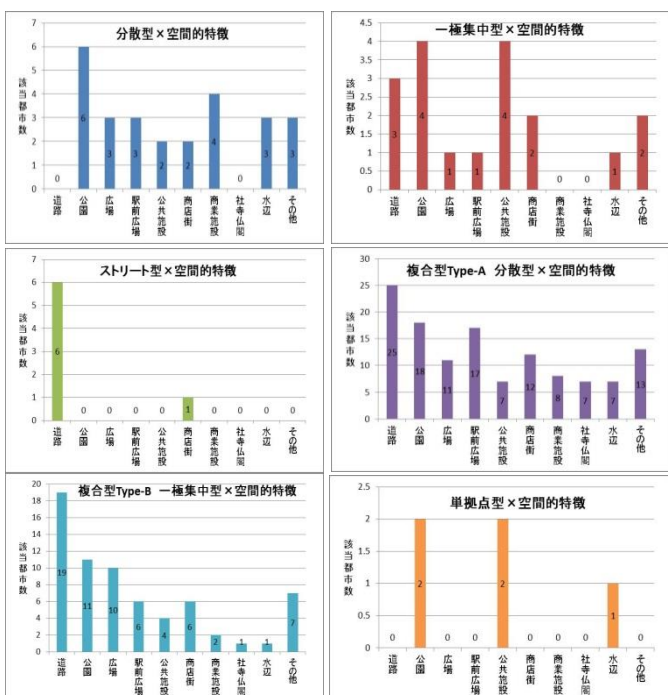


図8 各Type別分類における空間的特徴

図8からどのTypeも道路や公園、広場等の利用は共通して見られた。また分散し複雑な開催形態ほど商業施設や水辺など多様な都市空間利用が認められるが、集中するほど商店街や駐車場など日常利用傾向が多いとされる空間の活用が際立った。分散型では遠方からの賑わいを視野に一極集中型では地域に根差した都市空間利用が特徴的と言えるのではと考察を行った。

3-4. Type別の空間多様性に関する特徴

Type別に1ステージあたりが持つ都市空間としての固有性という観点から「空間多様性」を定義しまつりが使用する都市空間の多様性を考察した。

「該当する空間的特徴数」÷「ステージ箇所数」で表すこととした。結果0.5~1.0の値を示し空間多様性があると捉えられる事例が多数だったがステージ箇所数が20を超える事例になってくると空間的特徴が共通したものが多く存在し、まつりを通して体験できる空間体験が似通ってしまっている点には会場選定においての一つの改善余地になると考察することが出来た。

4. 運営側視点からみたよさこいまつりの運営・管理上の空間的特徴と課題

4-1. 調査対象事例の選定

4章では3章にて行った類型化を基に6Typeからそれぞれ代表事例を選定し現地調査や公式HPを参考に、また実行委員会へのヒアリングを行えたものにはその内容も絡め運営管理側から捉えたステージの空間的特徴や都市空間としての課題を明らかにする。

事例は「神戸よさこいまつり」(Type I)、「堺よさこいかえる祭り」(Type II)、「どん GALA!祭り」(Type III)、「こいや祭り」「龍馬よさこい」(Type IV)、「四日市よさこい祭り」(Type V)、「よさこいインふじいでら」(Type VI)の7つとした。選定理由は現地調査が可能だったものや筆者が過去に経験あるものならば都市空間活用の考察に筆者の視点を利用可能ではと考えたからである。7つの内の数事例に関して考察を記述する。

4-2. Type I 分散型「神戸よさこいまつり」の考察

神戸よさこいまつりは2015年9月4日~6日にかけてハーバーランド地区・垂水地区で行われたまつりで16回目を迎える。「縁 rich」という縁をより豊かにするという趣旨のもと7つの会場で行われ現地調査ならびにヒアリングから空間的特徴と課題の考察を行った。

神戸よさこいまつり学生実行委員会の方に2015年8月19日(水)、11月11日(水)の両日ヒアリングも協力頂いた。結果として水辺空間や商業施設を活用した会場設置により賑わいは見られるが分散型故の運営・管理の負担、パレード会場がないことによる魅力不足等が把握出来た。運営側の対応能力に即した会場展開ならびに多様な空間を利用している情報発信がよりまつ

りの認知向上に繋がると考えられる。

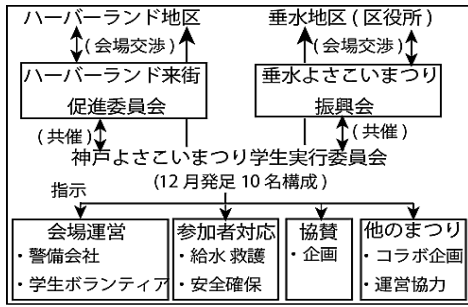


図9 神戸よさこいまつり運営体制

<p>高浜岸壁会場</p>	<p>スペースシアター会場</p>	<p>はなっこひろば会場</p>
<p>デュオこうべ会場</p>	<p>橋の科学館南側デッキ会場</p>	<p>マリニピア神戸会場</p>
<p>舞子公園会場</p>		

図10 神戸よさこいまつり各会場比較

4-3. TypeIV複合型 「こいや祭り」の考察

2015年9月12~13日に大阪城公園を中心に大阪各地に会場を持つ16回目の市民参加型のまつりとなる。大阪の各地を巡るように8つの会場があり現地調査と2015年8月20日、25日の2日間のこいや祭り学生実行委員会委員長へのヒアリングから次のことが判った。

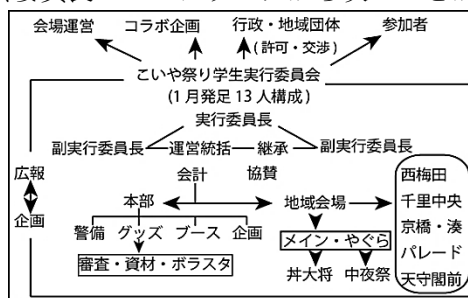


図11 こいや祭り運営体制

こいや祭りでは会場が分散していることでまちを巡る動きが起これ、屋台や企画を盛り込むことで賑わいに多様性が生まれている。だが広域開催故の運営・管理の負担や協力団体との関係維持と新規の会場開拓との間に摩擦があり、運営側が提供したい新規の空間演出と負担が過剰にならない規模設定が要求される。

4-4. TypeV複合型「四日市よさこい祭り」の考察

2015年11月29日に三重県四日市市にて賑わい創出や地域文化の掘り起こしを目的にした11回目を迎えるまつりとなる。現地調査を基に次の考察を行った。四日市よさこい祭りは一極集中型の開催形態ながらも、ステージにパレードと多様な空間演出が施されまつりの楽しみ方が様々となっている。だが巡る程の範囲ではない為、賑わいの波及は課題となる。そこでまつり演出で会場を繋げる一体的な仕掛けと共に、地域により根付かせる交流機会や他のイベントとの協力開催等で賑わいの層を厚くするのが魅力付加になると考える。

4-5. 運営側視点からみた考察比較

4章の調査対象事例に対する運営側視点の考察比較図(図12)から道路、公園、広場等の利用は共通して見られ分散型では商業施設や水辺空間利用が、一極集中型では商店街や駐車場利用が特徴に挙げられた。分散型では展開規模のバランスが、一極集中型等では地域固有の魅力が付加する新規演出で都市空間との関わり方を多様にする方向性が求められていると考察する。

<p>名称 Type I 分散型 神戸よさこいまつり</p> <p>様子写真 </p> <p>長所 空間的特徴 公園1 広場2 商業施設1 水辺3 親水空間や商業施設を利用した多様な空間演出 観客と踊り子の動線分離 全会場への警備配置による安全確保 多くの人の滞りが見込める空間利用 音響機器による騒音対策 屋外空間での雨天対応 公園会場での自然への影響</p> <p>短所 会場分散による警備対応の負担増加 住宅街からの騒音苦情 地域へのまつりの浸透性 パレード会場の未設置</p> <p>課題 親水空間利用など特徴を持つが地域への浸透性不足 多様な賑わいづくりへの波及 まつり規模増加に伴う人員負担増加 パレード会場がないことによる迫力不足</p> <p>展開可能性 運営側の対応能力に応じた会場展開 賑わいある空間を利用した情報発信 → 認知</p>	<p>名称 Type II 一極集中型 堺よさこい祭り</p> <p>様子写真 </p> <p>長所 空間的特徴 広場1 駅前広場1 公共施設1 設置物による交通動線の分離 駅前を活かした人の賑わい 屋内空間により天候に左右されず身体面への影響を緩和 ステージが集中しており移動負担が少ない</p> <p>短所 利用空間での賑わいの仕掛け作り 費用面からの懸念 街を巡り歩く行動が起きない 情報発信力の向上 (認知不足)</p> <p>課題 集中した賑わい創出は見られるが周辺への波及が困難</p> <p>展開可能性 まつりの利点 情報発信力の向上 知名度上昇 会場の安全性 参加者の増加 踊り子の負担軽減 地域の名物まつりへ (※1...「Livetown IZUMIGAOKA 皇が丘駅前地域情報サイト」より引用) TypeIV複合型 Type-A 分散型 こいや祭り</p>
<p>名称 Type III ストリート型 どん GALAI 祭り</p> <p>様子写真 </p> <p>長所 迫力あるまつり体験 協力団体との関係構築 踊り歩きによる観客の巻き付け</p> <p>短所 道路空間の使用許可 協力団体との関係維持の難しさ 警備面への留意 踊り子の身体面への負担</p> <p>課題 使用許可を求めた事前対応 安全性を考えた救護体制 道路使用許可に基づくまつり範囲が狭小</p> <p>展開可能性 救護テント設置による安全性向上 まつり範囲に対応した警備の充実化 (広域開催では安全対策を主眼に) (※1...「柏崎市公式HP 第15回どん GALAI 祭り」より引用) (※2...「どん GALAI 祭り公式HP」より引用)</p>	<p>名称 Type V 複合型 Type-B 一極集中型 四日市よさこい祭り</p> <p>様子写真 </p> <p>長所 空間的特徴 道路3 公園1 駅前広場1 商店街4 商業施設1 移動の負担少 よさこい以外でのまつりの楽しみ方(市民マーケット・体験教室)</p> <p>短所 境界の曖昧化による危険性 警備対応の事前準備 滞り行為による公園の自然への影響 道路使用許可の申請</p> <p>課題 街を歩き巡る機会の喪失 まつりの賑わい波及の難しさ 単独拠点にまつりの賑わいが波及し辛い認知されにくい</p> <p>展開可能性 賑わいある空間の確保 一極集中を活かした まつりの認知増加 移動負担の減少 多まつり空間の連続性 賑わい波及 エリアの賑わいを屋台や企画など まつり演出で集約させた魅力向上を 目指し波及させる</p>
<p>名称 Type V 単独拠点型 よさこいフェスティバル</p> <p>様子写真 </p> <p>長所 空間的特徴 公共施設1</p> <p>短所 移動の負担少 よさこい以外でのまつりの楽しみ方(市民マーケット・体験教室)</p> <p>課題 単独拠点にまつりの賑わいが波及し辛い認知されにくい</p> <p>展開可能性 波及ではなく閉じた多様な賑わいづくりで 市民交流促進を図る 独特の特性を付ける (市民マーケット・キッチンカー)</p>	

図12 運営側視点考察比較

5. 参加者側視点からみたよさこいまつりの空間的特徴と課題

5章では4章同様に具体的な調査対象事例を踊り子や観客など参加者側視点からまつりの空間的特徴と課題について考察を試みた。

5-1. 参加者側からみた考察比較

Type I やIVのような分散型の事例では多様な都市空間利用に伴いまちを巡る形態なので賑わいの波及創出は図られているが、踊り子には移動や時間管理の面で負担が増加してしまう傾向がある。またまつりによっては会場数の多さから緊急時の救護スペース未設置等安全管理の面で不足が捉えられた点が存在する。

Type II やVのような一極集中型の事例では会場が集中していることで参加者側の移動負担が少なく済む。同時に時間管理も容易いことで踊り子自身もまつりを楽しむやすい。だが、事例によっては会場数が少なく多様な空間体験が乏しくなってしまう。移動をしない代わりにその場に滞留する時間が増加するので、会場周辺に屋台やマーケットなどよさこいに限らない演出を都市空間に施すことでより賑わいに厚みを持たせることが出来ると考察する。

そして Type III やVIのような道路上でのみのまつりや単拠点開催では、まつりの認知機会が偏り周辺に賑わいを波及させるのは困難と考えられる。こうした事例については参加者側への対応を充実化しまつりの安全面の向上を図る。また藤井寺市のまつりで見られたような体験教室や手作り市など地域イベントとの共同開催等で、住民との交流機会に繋がる地域固有のまつりへと定着させ新たな魅力創出による地域活性化を図ることも都市空間との関わり方には必要と考察する。

6. 終章 研究の結論

6-1. よさこいまつり類型化に伴う空間的特徴と課題

3章にて行った類型化を基に都市空間との関わり方を見ると広く展開し規模の大きな都市ほど多様な都市空間活用が確認でき、巡り楽しむ賑わいづくりが図られている。一方で集中した展開をみせるものは日常での利用傾向が多い空間の活用が中心的で且つ地方都市のような規模の都市でその傾向が強く確認された。

6-2. 運営・参加者側両視点からみたよさこいまつりの空間的特徴と課題より示される都市空間との関わり方

4.5章にて実際の事例を通して空間的特徴と課題、更には今後の都市空間との関わり方について展開可能性の考察を行った。会場が分散し都市を巡る行動を伴うと多様な都市空間で非日常体験を可能とする。だが運営側また踊り子にとって安全面での人員負担や会場間移動負担等が重なると共に協力団体との関係維持や、安全面で人員確保や救護体制の構築が課題として考え

られ運営の対応能力に即した展開が必要になる。

一方で集中した展開のものは運営側や踊り子の負担が少ないが、賑わいの広がりには乏しい。この場合、広く会場展開を試みずに手作り市など地域に根付く交流機会を付随させる。閉じた都市空間での賑わいの層を厚くすることから始め、まつりを地域に浸透させ知名度を上げ、各地から人が集まるまつりへ変容させることがまつりの展開を広げることに繋がると考えられる。

6-3. 研究の結論・考察

本研究で対象とした現代的まつりは地域活性化や交流機会創出が主な目的である。開催形態や都市規模の違いにより、まつりの魅力向上と参加者の負担とのバランスを取った運営体制の構築、まつりや都市の特徴に合わせた地域イベントとの共催など地域固有の演出が求められ、それが賑わいの層を厚くする。今回はType別に1事例程なので更なる比較考察が課題として残るが、発祥して間も無い現代的まつりだからこそ出来る、型に囚われない柔軟な空間演出に都市空間との新たな関わり方を見出せるのではないかと考察する。

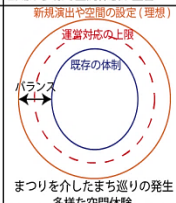
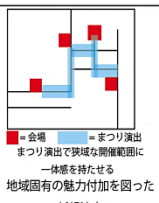


まつりの類型	分散型 Type I やIV	一極集中型 Type II やV	ストリート型 Type III	単拠点型 Type VI
運営側視点	多様な都市空間の管理負担 会場間移動に伴う時間管理 全会場での緊急対応能力の未確保 既存体制と新規演出とのバランス	会場数が少なく空間大変が乏しい 会場間の管理把握が容易 商店街や駐車場など日常に関わり 深い空間利用が多い	使用許可申請 交通を妨げない範囲 演舞空間の境界設定 安全面の確保	運営管理が行い易い 認知機会に乏しい 賑わいの波及が困難
参加者側視点	会場間移動に伴う時間管理 安全確保対策の会場間差異 会場が多様で空間体験が豊富	移動負担が少なく時間管理が容易 滞留時間の増加 周囲へまつり認知がされにくい	まつり認知が偏る 移動負担の軽減 多様性に乏しい	移動負担の軽減 まつりを楽しむ易い 多様性に乏しい
都市空間との関わり方			 <p>曖昧な境界が生む迫力 安全対策との相互関係 賑わいの層を厚くする</p>	 <p>地域イベントとの共催 住民交流機会 地域固有の演出</p>

図13 都市空間との関わり方に関する考察

【謝辞】

本研究にてヒアリング調査にご協力頂いた神戸よさこい並びにこいや祭り学生実行委員会の皆様には厚く御礼申し上げます。

【参考文献】

- 「熱狂！日本全国よさこい踊り」,杉原葉子(2008),株式会社コスミック出版
- 坂東裕介・木下光・丸茂弘幸(2007),「阿波踊りにおけるパフォーマンス空間の変容に関する研究」,(社)日本都市計画学会 都市計画論文集 No42-3,pp31-36
- 藍谷鋼一郎・有馬隆文・高山達也・松山加菜古(2012),「四都市における阿波踊りの比較から見た空間利用と運営方法の特徴と課題ー徳島、高円寺、南越谷、大和をケーススタディとしてー」,(社)日本都市計画学会 都市計画論文集 Vol47, No3, pp589-594
- 「YOSAKOI ソーラン祭り HP」,http://www.yosakoi-soran.jp/ 最終閲覧日 2015/10/12
- 「全国祭り情報 HP」,http://nihonguide.net/maturi/yosakoi.html 最終閲覧日 2015/7/12
- 「出かけよう！参加しよう！元気になるお祭り・花火」、海原純子(2008),三省堂書店

討議

討議 [倉方先生]

今までは「よさこいまつり」の研究は教育学的・民俗学的な視点で捉えられていたということですが、今回空間的な面で捉えるにあたって「よさこい」が伝統的祭礼とどのような面で違いが見られるんですか？

回答

日本三大祭りとして挙げられるような祇園祭・天神祭といった祭礼を伝統的祭礼と位置づけさせて頂いているのですが、そういった祭礼は古くから続くある一定の空間で開催されています。毎年定番の文化的行事として変わらずに価値あるものと考えられます。

現代に新しく発祥しつつある「よさこい」はまつり会場とする場所も運営側の意向次第で千変万化するまつりと捉えています。毎年定番の会場もあれば、去年とは違う新しい会場に挑戦してみたりといった具合にです。今回の調査でも運営実行委員会側も新しい別の会場で「よさこい」を開催してみたいといった思いを抱いているとした声を聞いたことから、まつり空間の選定には流動性を持ち合わせているのではと思います。

このことはまつりの参加者や観客に異なる空間体験をもたらすことに繋がると感じ、現代的まつりと位置付けた「よさこい」ならではの魅力にもなっていると考えています。

討議 [倉方先生]

会場の流動性に伴う色々な空間体験が出来るといった特徴があるとのことですが、他にも参加者が多様なこととかも影響してくるんじゃないかなと感想を抱きました。

回答

学生実行委員会のメンバーを捉えてみても様々な大学出身者から成り立ち、まつりに参加する踊り子も日本全国からという特徴からもわかる通り、地縁などに囚われない構図が形成されていることも伝統的祭礼とは異なる特色と考察を抱いています。

討議 [日野先生]

今回「よさこい」を対象に調べてもらっていくつかTypeが見られたということやけど、そもそも規模が違うようなものでは同じ手法とかは使えないと思う。神戸と藤井寺を比較しても仕方ないやろうし。同じ類型同士の中で比較して具体的な展開とかは何か考えられ

ないですか？

回答

今回はそれぞれの類型化の事例一つずつ程度で横断的に分析・調査を行った為同じ類型の中で都市やまつりの違いから具体的な展望の差を導き出すことは難しいと考えられます。

しかしながら今回の研究で一つの結論も導いたことから、今後は同じ類型同士の中で都市の規模の違いなどを基に特徴の差異を捉えることで更なる考察が可能になるのではと考えます。

本研究で示せることとして規模が小さなまつりだからといって規模を広げるような取組みを行えばよいといったことにはならず、むしろその地域との関わり合いを深める手法(例えば市民参加の体験教室やマーケットなど)を用いて地域固有のまつりとして浸透させていく方がよいといった考察を得ました。このことから同じ類型同士のまつり事例を都市の違いから比較考察を今後行ってみることや、地域イベントと共同でまつりの特徴をより厚みのあるものへと展開していく余地が現状でみられるかどうかについても視点を置いた上で全国各地の事例をみてみるのが今後の研究課題になると考察します。